

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月5日

上場取引所 東

上場会社名 コンドーテック株式会社

コード番号 7438 URL <http://www.kondotec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 近藤 勝彦

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長

(氏名) 安藤 朋也

TEL 06-6582-8441

四半期報告書提出予定日 平成27年2月6日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	36,734	5.1	2,455	0.1	2,537	0.7	1,568	4.9
26年3月期第3四半期	34,947	14.0	2,453	22.7	2,520	22.4	1,494	23.0

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 1,499百万円 (△10.9%) 26年3月期第3四半期 1,682百万円 (41.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	56.75	56.67
26年3月期第3四半期	54.12	54.09

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	34,892	19,675	56.3
26年3月期	34,481	18,783	54.4

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 19,655百万円 26年3月期 18,773百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	6.50	—	9.00	15.50
27年3月期	—	10.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,000	2.1	3,345	2.3	3,434	1.9	2,041	2.4	73.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 2社 (社名) KONDOTEC INTERNATIONAL(THAILA ND)Co.,Ltd.、中央技研株式会社、除外 1社 (社名)

(注)詳細は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	27,957,000 株	26年3月期	28,757,000 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	293,071 株	26年3月期	1,118,561 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	27,641,159 株	26年3月期3Q	27,623,783 株

(注)株式付与ESOP信託が保有する当社株式(27年3月期3Q:82,900株、26年3月期:108,500株)を期末自己株式数に含めて記載しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、四半期決算短信(添付資料)2ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動も徐々に緩和しているものの、個人消費は足踏みがみられ、また、輸出や生産、設備投資なども弱含んでおり、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループ関連業界におきましては、震災の復興を中心に公共投資は堅調に推移し、民間の建設投資も緩やかに増加するものの、住宅建設は駆け込み需要の反動の影響から抜け出せず、また、人手不足や急激な円安の進行による資材価格の上昇などもあり、依然として厳しい状況で推移しております。

このような状況のもとで、当社は自社製品の拡販、新規販売先の開拓や休眠客の掘り起こしなどの営業活動を展開するとともに、連結子会社である三和電材株式会社との事業拡大を図っております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は36,734百万円(前年同期比5.1%増)と増収になりました。

利益面につきましては、売上総利益率は前年同期の21.9%から0.6ポイント低下し、販売費及び一般管理費では子会社の退職金制度改定による退職給付費用の増加もあり、営業利益は2,455百万円(同0.1%増)、経常利益は2,537百万円(同0.7%増)となりました。なお、法人税等調整額の減少により四半期純利益は1,568百万円(同4.9%増)と増益になりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

<産業資材>

土木・建築を始め、物流や船舶、電力、鉄道、営林、農園芸、環境、街路緑化、産業廃棄物関連などさまざまな業界に商材を供給している当セグメントは、住宅建設は減少したものの、インフラ整備・改修工事の増加を背景に、各資材が堅調に推移し、当セグメントの売上高は22,432百万円(前年同期比7.1%増)、セグメント利益は1,646百万円(同2.7%増)となりました。

<鉄構資材>

鉄骨資材の指標の1つとなる推定鉄骨需要量は前年同期比若干のマイナスで推移しておりますが、依然として物流倉庫や商業施設などの大型低層物件や耐震改修工事などの需要は堅調で、当セグメントの売上高は8,728百万円(前年同期比10.2%増)、セグメント利益は761百万円(同12.2%増)となりました。

<電設資材>

消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動及び今夏の天候不順により、太陽光関連商材や空調機器を中心に低調に推移した結果、当セグメントの売上高は5,573百万円(前年同期比8.3%減)となりました。また、売上総利益率は0.2ポイント上昇しましたが、販売費及び一般管理費は退職金制度改定による退職給付費用の増加もあり、セグメント利益は110百万円(同48.6%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末(34,481百万円)と比較して410百万円増加し、34,892百万円となりました。これは、信託受益権及び繰延税金資産の減少等があったものの、現金及び預金、売上債権並びにたな卸資産の増加等を主因として、流動資産が581百万円増加した一方で、有形固定資産及び無形固定資産に係る減価償却並びに投資有価証券の時価の下落等を主因として、固定資産が171百万円減少したことによります。

負債合計は、前連結会計年度末(15,698百万円)と比較して481百万円減少し、15,217百万円となりました。これは、未払金の増加等があったものの、仕入債務、短期借入金、未払法人税等及び賞与引当金の減少等を主因として、流動負債が702百万円減少した一方で、退職給付に係る負債の増加等を主因として、固定負債が221百万円増加したことによります。

純資産合計は、前連結会計年度末(18,783百万円)と比較して891百万円増加し、19,675百万円となりました。これは、剰余金の配当527百万円の支払いによる減少及び退職給付会計基準等の適用に伴う影響額112百万円による利益剰余金の減少があったものの、四半期純利益1,568百万円による増加があったこと等によります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末(54.4%)比、1.9ポイント改善し56.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の業績予想におきましては、平成26年5月8日の「平成26年3月期 決算短信」の発表時に公表した業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第2四半期連結会計期間より、重要性が増したKONDOTEC INTERNATIONAL (THAILAND) Co., Ltd. 及び、全株式を取得した中央技研株式会社を連結の範囲に含めております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の算定方法を変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が173,977千円増加し、利益剰余金が112,389千円減少しております。また、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響額は軽微であります。

（従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱いの適用）

「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第30号 平成25年12月25日）を第1四半期連結会計期間より適用しております。なお、適用初年度の期首より前に締結された信託契約に係る会計処理については、同実務対応報告の方法によらず、従来採用していた方法を継続しております。

（4）追加情報

（株式付与E S O P信託）

①取引の概要

当社は、平成25年8月13日開催の取締役会において、当社の中長期的な企業価値を高めることを目的として、従業員インセンティブ・プラン「株式付与E S O P信託」導入を決議しており、平成25年9月10日付で自己株式125千株について、「三菱UFJ信託銀行株式会社（株式付与E S O P信託口）」に対して、第三者割当による自己株式の処分を実施しております。

②信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する会計処理

「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第30号 平成25年12月25日）第20項を適用し、従来採用していた方法を継続しております。

③信託が保有する自社の株式に関する事項

信託が保有する当社株式の信託における帳簿価額は、前連結会計年度47,677千円、当第3四半期連結会計期間36,428千円で、株主資本において自己株式として計上しております。また、当該株式の期末株式数は、前連結会計年度108千株、当第3四半期連結会計期間82千株、期中平均株式数は、前第3四半期連結累計期間120千株、当第3四半期連結累計期間105千株であり、1株当たり情報の算出上、控除する自己株式を含めております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,636,547	6,685,930
受取手形及び売掛金	13,399,285	13,988,093
商品及び製品	2,686,038	3,201,680
仕掛品	137,164	164,451
原材料及び貯蔵品	343,947	341,499
その他	2,275,324	625,665
貸倒引当金	△66,131	△13,727
流動資産合計	24,412,176	24,993,594
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,312,209	2,216,086
土地	5,752,013	5,806,091
その他（純額）	858,264	872,462
有形固定資産合計	8,922,488	8,894,639
無形固定資産		
その他	167,625	86,952
無形固定資産合計	167,625	86,952
投資その他の資産		
その他	1,071,892	983,585
貸倒引当金	△92,280	△66,654
投資その他の資産合計	979,611	916,930
固定資産合計	10,069,725	9,898,523
資産合計	34,481,902	34,892,118

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,023,494	5,748,828
短期借入金	800,000	600,000
未払金	5,290,213	5,724,227
未払法人税等	861,009	192,879
賞与引当金	580,455	293,252
販売促進引当金	—	31,197
その他	794,800	1,057,355
流動負債合計	14,349,973	13,647,739
固定負債		
役員退職慰労引当金	35,284	42,203
退職給付に係る負債	1,035,414	1,249,021
その他	277,468	278,137
固定負債合計	1,348,167	1,569,362
負債合計	15,698,141	15,217,101
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,666,485	2,666,485
資本剰余金	2,439,266	2,434,555
利益剰余金	15,199,035	15,791,897
自己株式	△491,559	△128,810
株主資本合計	19,813,227	20,764,126
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	447,776	325,692
繰延ヘッジ損益	3,011	22,020
土地再評価差額金	△1,539,569	△1,539,569
為替換算調整勘定	—	47,034
退職給付に係る調整累計額	49,534	35,825
その他の包括利益累計額合計	△1,039,247	△1,108,996
新株予約権	9,781	19,884
少数株主持分	—	0
純資産合計	18,783,761	19,675,016
負債純資産合計	34,481,902	34,892,118

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	34,947,434	36,734,633
売上原価	27,300,127	28,894,763
売上総利益	7,647,307	7,839,870
販売費及び一般管理費	5,194,291	5,384,270
営業利益	2,453,015	2,455,600
営業外収益		
受取利息	7,858	9,184
受取配当金	2,021	8,189
仕入割引	101,083	94,544
雑収入	14,225	23,882
営業外収益合計	125,189	135,800
営業外費用		
売上割引	44,686	45,484
支払利息	1,496	1,397
雑損失	11,870	7,104
営業外費用合計	58,054	53,986
経常利益	2,520,150	2,537,414
特別利益		
固定資産売却益	466	1,720
負ののれん発生益	—	809
特別利益合計	466	2,529
特別損失		
固定資産売却損	310	1,661
固定資産除却損	4,619	593
特別損失合計	4,929	2,255
税金等調整前四半期純利益	2,515,687	2,537,688
法人税、住民税及び事業税	802,028	795,982
法人税等調整額	218,675	173,048
法人税等合計	1,020,703	969,030
少数株主損益調整前四半期純利益	1,494,983	1,568,657
少数株主利益	—	0
四半期純利益	1,494,983	1,568,657

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,494,983	1,568,657
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	171,513	△122,084
繰延ヘッジ損益	16,250	19,009
為替換算調整勘定	—	47,503
退職給付に係る調整額	—	△13,708
その他の包括利益合計	187,763	△69,279
四半期包括利益	1,682,747	1,499,377
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,682,747	1,499,377
少数株主に係る四半期包括利益	—	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年8月8日開催の取締役会決議に基づき、平成26年9月1日付で、自己株式800,000株の消却を実施いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が13,891千円、利益剰余金が337,687千円、自己株式が351,578千円それぞれ減少しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額(注2)
	産業資材	鉄構資材	電設資材	計		
売上高						
(1)外部顧客への売上高	20,950,551	7,918,548	6,078,334	34,947,434	—	34,947,434
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	233,571	62,046	47,315	342,933	△342,933	—
計	21,184,123	7,980,594	6,125,649	35,290,367	△342,933	34,947,434
セグメント利益又は損失(△)	1,602,772	678,933	214,040	2,495,745	△42,730	2,453,015

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△42,730千円には、のれんの償却額△45,925千円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額(注2)
	産業資材	鉄構資材	電設資材	計		
売上高						
(1)外部顧客への売上高	22,432,371	8,728,528	5,573,733	36,734,633	—	36,734,633
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	228,134	69,130	34,719	331,985	△331,985	—
計	22,660,506	8,797,659	5,608,453	37,066,618	△331,985	36,734,633
セグメント利益又は損失(△)(注3)	1,646,721	761,727	110,078	2,518,527	△62,927	2,455,600

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△62,927千円には、のれんの償却額△72,956千円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を変更したことに伴い、報告セグメントの退職給付債務及び勤務費用の計算方法を同様に変更しております。

この変更による当第3四半期連結累計期間のセグメント利益又は損失(△)に与える影響は軽微であります。